

講義シラバス

科目名	ピックアップヘアメイクⅡ	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S	授業 形態	講義	総時間数	60 時間
学科	ヘアメイク科	コース				学年	2年生		
講師名	林・箱石 メイクアップアトリエ	講師 プロフィール	メイクアップアトリエはCMや広告、テレビ等の撮影現場や、ファッションショー、舞台、ドラマ、ブライダル等のモデルやタレント、アナウンサーや一般の人々のヘアメイクをはじめ、美容専門学校講師、更に世界の4大コレクションであるNYコレクションにもJAPANチームとして参加する等、海外まで活動の場を広げているアーティストが17名所属するヘアメイク事務所です。						
【授業を通じての到達目標】									
専門的なヘアメイク技術を学ぶ事で、自身の感性やヘアメイクの幅が広げられるようになる									
【学習内容】									
様々な専門的な技術を学ぶ									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
ヘアメイク道具一式									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (4/15)	【到達目標】小テスト2点 オリエンテーション、自己紹介、シラバス説明、黒ゴムで1束が出来るようになる ※ウィッグ				⑨ (6/24)	【到達目標】小テスト3点 幅広くヘアアレンジが出来るようになる(くびれ編みおろし・タイトアップ)			
② (4/22)	【到達目標】小テスト2点 相モデルでモデルのイメージを活かした、ナチュラルなヘアメイクが出来るようになる				⑩ (7/1)	【到達目標】小テスト3点 幅広くヘアアレンジが出来るようになる(ツインダンゴ)			
③ (5/13)	【到達目標】小テスト3点 ベース・チーク・リップのバリエーションを理解出来るようになる				⑪ (7/8)	【到達目標】小テスト3点 幅広くヘアアレンジが出来るようになる(ゆかたシニヨン・和髪アップ)			
④ (5/20)	【到達目標】小テスト3点 アイメイク・アイブロウのバリエーションを理解出来るようになる でパターンを練習後、相モデルでメイク				※紙 ⑫ (7/22)	【到達目標】小テスト3点 これまでのテクニックを使い、テーマにそったヘアメイクが出来るようになる 夏休み			
⑤ (5/27)	【到達目標】小テスト3点 指定した色を作り、メイクで表現出来るようになる				⑬ (8/19)	【到達目標】小テスト3点 これまでのテクニックを使い、テーマにそったヘアメイクが出来るようになる 夏休み明け			
⑥ (6/3)	【到達目標】小テスト3点 様々なバリエーションを活かし、イメージメイクが出来るようになる				⑭ (8/26)	【到達目標】小テスト3点 これまでのテクニックを使い、テーマにそったヘアメイクが出来るようになる			
⑦ (6/10)	【到達目標】小テスト3点 幅広くヘアアレンジが出来るようになる(ハーフアップ・ローボニー)				⑮ (9/2)	【定期試験】60点 学んだ技術を活かし、テーマに沿ったヘアメイク表現が出来るようになる			
⑧ (6/17)	【到達目標】小テスト3点 幅広くヘアアレンジが出来るようになる(ルーズアップ・ツインボニー)				【成績評価の方法と基準】				
					●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									

講義シラバス

科目名	クリエイティブヘアメイクⅡ	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S	授業 形態	演習	総時間数	60 時間
学科	ヘアメイク科	コース				学年	2年生		
講師名	石川紗織	講師 プロフィール	三景スタジオ退社後、フリーランスのヘアメイクに転向。 現在は、冠婚葬祭、広告など様々なジャンルのヘアメイクを担当。						

【授業を通じての到達目標】

感性を養い、自分の個性、得意分野を理解した作品が作れるようになる

【学習内容】

スチール作品、ライブ作品を構成から考え作り上げる

【使用教科書・教材・参考図書】

ヘア・メイク道具一式、筆記用具、色鉛筆、作品ラフ

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

雑誌、芸術作品、webでラフを集めておく
定期的な宿題提出

日時	授業計画	日時	授業計画
	【到達目標】		【到達目標】
① (4/16)	スチール作品を作る 作品の構成、スケジュールを組み立てる	⑨ (6/18)	ライブ作品を作る 作品のヘアメイクデザイン、コーディネートを決める
② (4/23)	スチール作品を作る 作品のヘアメイクデザイン、コーディネートを決める	⑩ (6/25)	ライブ作品作り
③ (5/7)	スチール作品作り準備	⑪ (7/2)	ライブ作品作り
④ (5/14)	スチール作品作り	⑫ (7/9)	ライブ作品作り
⑤ (5/21)	スチール作品作り	⑬ (7/16)	ライブ作品発表
⑥ (5/28)	スチール作品作り	⑭ (8/20)	アートヘアメイク作品を作ることが出来る
⑦ (6/4)	スチール作品作り	⑮ (8/27)	【定期試験】60 振り返り。自分自身が得意なこと、好きなものを理解する
⑧ (6/11)	ライブ作品を作る 作品の構成、スケジュールを組み立てる	【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	

【履修に当たっての心構え・留意点】

授業出席・遅刻の厳重管理と指導/忘れ物、授業態度の指導

講義シラバス

科目名	タレントヘアメイク	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S	授業 形態	演習	総時間数	60 時間
学科	ヘアメイク科	コース				学年	2年生		
講師名	メイクアップアトリエ	講師 プロフィール	メイクアップアトリエはCMや広告、テレビ等の撮影現場やファッションショー、舞台、ドラマ、プライダルなどのモデルやタレント、アナウンサーや一般の人々へのヘアメイクをはじめ、美容専門学校の講師、更に世界の四大コレクションであるNYコレクションにもJAPANチームとして参加するなど、海外まで活躍の幅を広げているアーティストが14名所属するヘア名事務所です。						

【授業を通じての到達目標】

様々な現場に適応した技術を身に付けられるようになる。

【学習内容】

テレビ局、ロケ、舞台、ドラマ、広告など様々な現場のノウハウを学び、現場に合った技術力を身に付ける。

【使用教科書・教材・参考図書】

ヘアメイク道具一式、筆記用具

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

日時	授業計画	日時	授業計画
	【到達目標】小テスト2点		【到達目標】小テスト2点
① 4/15	シラバス説明、授業の必要性を理解する。テレビ局で必要とされるジャンル説明、アナウンサー(報道)のヘアメイクを相モデルで出来るようになる。①	⑨ 6/24	広告などジャンル別のヘアメイクを相モデルで練習する事が出来る①
② 4/22	【到達目標】小テスト2点 アナウンサー(バラエティ)のヘアメイクを相モデルで出来るようになる②	⑩ 7/1	【到達目標】小テスト2点 広告などジャンル別のヘアメイクを相モデルで出来るようになる②
③ 5/13	【到達目標】小テスト2点 アイドル系ヘアメイクを相モデルで練習する事が出来る①	⑪ 7/8	【到達目標】小テスト3点 ギャル系(年代問わない)のヘアメイクを相モデルで練習する事が出来る①
④ 5/20	【到達目標】小テスト2点 アイドル系のヘアメイクを相モデルで出来るようになる②	⑫ 7/22	【到達目標】小テスト3点 ギャル系(年代問わない)のヘアメイクを相モデルで出来るようになる②
⑤ 5/27	【到達目標】小テスト2点 衣装に合わせたヘアメイクを相モデルで出来るようになる。	⑬ 8/19	【到達目標】小テスト3点 クイックチェンジヘアメイクを相モデルで出来るようになる。
⑥ 6/3	【到達目標】小テスト2点 グリーンバック撮影を想定したヘアメイクを相モデルで出来るようになる。	⑭ 8/26	【到達目標】小テスト3点 舞台やドラマなどを想定し、配役を決めてヘアメイク練習をする事が出来る① ※グループワーク
⑦ 6/10	【到達目標】小テスト2点 ファッションショーを想定したヘアメイクを相モデルで練習する事が出来る① ※ブランド指定あり	⑮ 9/2	【定期試験】60 舞台やドラマなどを想定し、配役を決めてヘアメイクを完成させる事が出来る② ※グループワーク
⑧ 6/17	【到達目標】中間チェック ファッションショーを想定したヘアメイクを相モデルで出来るようになる② ※ブランド指定あり ※中間チェック10点		【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

【履修に当たっての心構え・留意点】

講義シラバス

科目名	プロフェッショナルメイク I	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S	授業 形態	演習	総時間数	60 時間
学科	ヘアメイク科	コース	ヘアメイク専攻			学年	2年生		
講師名	松丸亜弥美	講師 プロフィール	ヘアメイクサロン経営。テレビ、広告、ブライダル、撮影なども行っている。						

【授業を通じての到達目標】

基礎のメイク技術を生かし、さらに現場で役立つ知識や技術を習得する

【学習内容】

メイクの技術のみにかかわらず、接客業に携わるうえで大切なことを学ぶ

【使用教科書・教材・参考図書】

メイク道具一式・筆記用具

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

日時	授業計画	日時	授業計画
① 4/17	【到達目標】小テスト2点 クレンジング・春トレンドを調べて相モデルでメイクを行う	⑨ 6/19	【到達目標】小テスト3点 就活用メイク
② 4/24	【到達目標】小テスト2点 トレンドコスメを使ってテーマに沿ったメイクを行う	⑩ 6/26	【到達目標】小テスト3点 就活用メイク&撮影
③ 5/8	【到達目標】小テスト2点 マルジェラメイク	⑪ 7/3	【到達目標】小テスト3点 ヘアメイクサロン(岸田先生とコラボ授業)
④ 5/15	【到達目標】小テスト2点 モブワイフメイク	⑫ 7/10	【到達目標】小テスト3点 ヘアメイクサロン(岸田先生とコラボ授業)
⑤ 5/22	【到達目標】小テスト2点 ブルーメイク	⑬ 7/17	【到達目標】小テスト3点 脳科学・心理学講師『梅澤未来』先生による授業
⑥ 5/29	【到達目標】小テスト3点 チェンジを意識したブライダルメイクを相モデルで行う	⑭ 8/21	【到達目標】小テスト4点 定期試験対策授業
⑦ 6/5	【到達目標】小テスト4点 チェンジを意識したブライダルメイクを相モデルで行う	⑮ 8/28	【定期試験】60 テーマに沿ったメイクを時間内に仕上げる

【履修に当たっての心構え・留意点】

⑧
6/12
ドラッグクイーンメイク

忘れ物は自己管理不十分とみなし、小テストよりマイナスとする。また今後社会で必要とされるコミュニケーション力を身に付ける為、相モデルへの声かけを徹底する。

【成績評価の方法と基準】

- 小テスト40点/定期試験60点
- 評価
A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点)
E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)
- 評価方法
評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

講義シラバス

科目名	プロフェッショナルヘア I	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S	授業 形態	実習	総時間数	60 時間
学科	ヘアメイク科	コース				学年	2年生		
講師名	岸田 知紘	講師 プロフィール	札幌ビューティーメイク美容専門学校卒。 美容師免許取得。ヘアセット歴15年。 フリー講師、フリーヘアメイクとして活動しています。						
【授業を通じての到達目標】									
ヘアセットの基礎からの応用。 ベーシックスタイルの応用。									
【学習内容】									
基礎を知る。応用へのつながり。技術は反復により一層の理解を深める。【出来る】【わかる】が自信に繋がりに向上心へと繋がる									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
セットウィッグ・クランプ・ホットカーラー・ロールブラシ・ダッカー・ピン類 ゴム・ゴムを切るハサミ・ハードスプレー・ドライヤー・水スプレー ヘアアイロン・テールコーム									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (4/17)	【到達目標】ベーシックの応用の幅を付け方がわかる。(小テスト3) カールアップの応用 1				⑨ (6/19)	【到達目標】和のバランス、毛の扱いがわかるようになる(小テスト2) 和装ヘアスタイル 2			
② (4/24)	【到達目標】ベーシックの応用の幅の付け方がわかる。(小テスト2) カールアップの応用 2				⑩ (6/26)	【到達目標】知識を形にして対応する力を身に付ける(小テスト3) ヘアメイクサロンのためのヘアアレンジ			
③ (5/8)	【到達目標】目的に合わせたブローが分かるようになる(小テスト3) ブロースタイル 1 ウィッグの前髪カット				⑪ (7/3)	【到達目標】知識を形にして対応する力を身に付ける(小テスト3) 7/10(水)ヘアメイクサロンのための対策			
④ (5/15)	【到達目標】目的にあったブローが分かるようになる。(小テスト3) ブロースタイル 2 相モデル				⑫ (7/10)	【到達目標】より実践的なサロンワークを学ぶ(小テスト4) 実習【ヘアメイクサロン】			
⑤ (5/22)	【到達目標】細部にこだわる力を身に付け・バランスがわかるようになる(小テスト3) ねじり・ほぐしのテクニック1				⑬ (7/17)	【到達目標】作成し、細やかな修正を加え、より高い完成度を目指す(小テスト3) カールたっぷりのアップヘア 実践			
⑥ (5/29)	【到達目標】細部にこだわる力を身に付け・バランスがわかるようになる(小テスト2) ねじり・ほぐしのテクニック2				⑭ (8/21)	【到達目標】試験に向けてクオリティ、時間を意識することができる(小テスト3) 定期試験練習			
⑦ (6/5)	【到達目標】ベーシックなデザインをアレンジする(小テスト3) かぶせの夜会巻きとバリエーション				⑮ (8/28)	【定期試験】60 定期試験			
⑧ (6/12)	【到達目標】和のバランス・毛の扱いがわかるようになる(小テスト3) 和装ヘアスタイル 1				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
必須道具・名札などの忘れ物は、小テストよりマイナスとする。									

講義シラバス

科目名	ヘアメイク総合技術 I	必修 選択の別	選択	開講 区分	3S	授業 形態	実習	総時間数	60 時間
学科	ヘアメイク科	コース	ヘアメイク専攻			学年	2年生		
講師名	森夏子 メイクアップアトリエ	講師 プロフィール	メイクアップアトリエはCMや広告、テレビ等の撮影現場や、ファッションショー、舞台、ドラマ、プライダル等のモデルやタレント、アナウンサーや一般の人々のヘアメイクをはじめ、美容専門学校講師、更に世界の4大コレクションであるNYコレクションにもJAPANチームとして参加する等、海外まで活動の場を広げているアーティストが17名所属するヘアメイク事務所です。						

【授業を通じての到達目標】

ヘアメイクアップアーティストに必要な知識と実践力を身につける。想像力、表現力を広げ、現場でイメージ通りのヘアメイクができるようになる。

【学習内容】

様々なイメージやシチュエーションに合わせたヘアメイクができるようになる。

【使用教科書・教材・参考図書】

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

ヘアメイク道具一式、筆記用具

日時	授業計画	日時	授業計画
	【到達目標】 小テスト2点		【到達目標】 小テスト2点
① (4/18)	オリエンテーション、ヘアメイクデモ(Ray、zipper)、コンセプトシート作り	⑨ (6/20)	ヘアメイクのイメージシートをもとに統一制のあるヘアメイクをすることができるようになる(相モデル①)
② (4/25)	ファッションに合わせたヘアメイクをすることができるようになる(Ray)相モデル	⑩ (6/27)	ヘアメイクのイメージシートをもとに統一制のあるヘアメイクをすることができるようになる(相モデル②)
③ (5/9)	ファッションに合わせたヘアメイクをすることができるようになる(Zipper)相モデル	⑪ (7/4)	グループワーク、撮影(ファッション)
④ (5/16)	シチュエーションに合わせたヘアメイクをすることができるようになる(広告撮影)	⑫ (7/11)	グループワーク、撮影(コスメブランド)
⑤ (5/23)	シチュエーションに合わせたヘアメイクをすることができるようになる(広告撮影)	⑬ (7/18)	グループワーク、撮影(クリエイティブ)
⑥ (5/30)	結婚式の本番を想定してウェディングからカラードレスへのヘアメイクチェンジができるようになる(相モデル①)ヘアデモ	⑭ (8/22)	定期試験用のコンセプトシート作成、練習
⑦ (6/6)	結から式の本番を想定してウェディング→カラードレスへのヘアメイクチェンジができるようになる(相モデル②)ヘアデモ	⑮ (8/29)	定期試験

【到達目標】中間チェック10点

⑧
(6/13)
中間チェック

【成績評価の方法と基準】

- 小テスト40点/定期試験60点
- 評価
A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点)
E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)
- 評価方法
評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

【履修に当たっての心構え・留意点】

講義シラバス											
科目名	ヘアメイク総合技術Ⅰ	必修 選択の別	選択	開講 区分	3S	授業 形態	講義	総時間数	60	時間	
学科	ヘアメイク科	コース	ブライダル専攻			学年	2年生				
講師名	川崎みゆき	講師 プロフィール	ウェディングプランナー歴15年以上のキャリアを持ち、海外での経験から欧米ウェディングの知識も豊富。約10年以上ほど前からブライダルの講師も務める。								
【授業を通じての到達目標】											
ブライダルの概要を理解し、幸せな花嫁を作り上げる要素を美容の観点だけでなく多方面から学ぶことで、幅広い角度のウェディングスタイルを学習する。またアソシエイトブライダルコーディネーター認定試験合格、およびプロとして必要なブライダルに関する知識を取得・理解する。											
【学習内容】											
ブライダルに関する基礎知識に加え、ブライダルの現場見学や、現場に携わっている方々をゲストに招き、「今」のブライダルを知る。また、ブライダルアイテムの制作体験などを通じてブライダルの世界観を学ぶ。											
【使用教科書・教材・参考図書】						【授業時間外における学習・宿題・課題など】					
ブライダルコーディネーター テキスト スタンダード											
日時	授業計画				日時	授業計画					
① (4/18)	【到達目標】小テスト2点 オリエンテーション: 認定試験についての説明とシラバスを理解する。授業の心構えの確認。今後のスケジュール確認。				⑨ (6/20)	【到達目標】小テスト3点 ①衣装・衣装小物について学ぶ(和装)男性、女性ともに衣装だけでなく、小物についても学ぶ。					
② (4/25)	【到達目標】小テスト3点 ①結婚の定義/歴史と文化 結婚を定義から学習し、現代に至るまでの結婚にまつわる歴史を知る。また実際の結婚式を動画などを通じて雰囲気を読み理解する。				⑩ (6/27)	【到達目標】小テスト3点 <体験授業>和装小物製作/和装に合う小物制作。和装着用時の立ち振る舞いや小物の合わせ方などを知る。					
③ (5/9)	【到達目標】小テスト3点 ②結婚の定義/歴史と文化 結婚を定義から学習し、現代に至るまでの結婚にまつわる歴史を知る。また実際の結婚式を動画などを通じて雰囲気を読み理解する。				⑪ (7/4)	【到達目標】小テスト3点 ②衣装・衣装小物について学ぶ(洋装)男性、女性ともに衣装だけでなく、小物についても学ぶ。					
④ (5/16)	【到達目標】小テスト3点 ①挙式: 日本で行われている挙式について学ぶ。キリスト教式、神前式、仏前式、人前式など。それぞれの歴史、進行、しきたり、特徴などを教科書だけでなく、写真や動画などを通じて学び、理解する。				⑫ (7/11)	【到達目標】小テスト3点 ②映画鑑賞: 欧米スタイルの結婚式の復習と理解を深める。レポート提出					
⑤ (5/23)	【到達目標】小テスト3点 ②挙式: 日本で行われている挙式について学ぶ。キリスト教式、神前式、仏前式、人前式など。それぞれの歴史、進行、しきたり、特徴などを教科書だけでなく、写真や動画などを通じて学び、理解する。				⑬ (7/13)	【到達目標】小テスト3点 ブライダルビジネス・ブライダル関連業種について学ぶ。ビジネスとしての結婚式、またブライダルマーケットを知る。現在の結婚市場を理解する。					
⑥ (5/30)	【到達目標】小テスト3点 * <体験授業> 挙式会場見学: 実際に結婚式が行われる会場を訪れお話を伺う。				⑭ (8/22)	【到達目標】小テスト2点 定期試験に向けての授業まとめ					
⑦ (6/6)	【到達目標】小テスト3点 海外挙式・欧米を中心とした世界の結婚式について学ぶ。様々な価値観や文化に基づく結婚式を知るとともに、理解を深める。				⑮ (8/29)	【定期試験】60 前期定期試験					
⑧ (6/13)	【到達目標】小テスト3点 ①映画鑑賞: 欧米スタイルの結婚式の復習と理解を深める。レポート提出				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。						
【履修に当たっての心構え・留意点】											
* 会場やゲスト講師のスケジュール、都合によって日程や内容が変更することがあります											

講義シラバス

科目名	ヘアメイク総合技術Ⅰ	必修 選択の別	選択	開講 区分	3S	授業 形態	演習	総時間数	30 時間
学科	ヘアメイク科	コース	ファッション専攻			学年	2年生		
講師名	國枝知夏	講師 プロフィール	東京の服飾専門学校を卒業後アシスタントを経て独立し老若男女問わず主にタレント、俳優の方々を担当しCM、映画、ドラマ、バラエティ、雑誌、MV、ショーなど様々な現場に20年程携わる						

「ファッション」を具体的に理解し実践に繋がる知識のベースを構築する

【学習内容】

洋服の基本を確認しながら新しいものを提案する引き出しを増やすことができる

【使用教科書・教材・参考図書】

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

ヘアメイク道具一式 トルソー 筆記用具

日時	授業計画	日時	授業計画
① (4/18)	【到達目標】2点 オリエンテーション 自己紹介とシラバスの確認	⑨ (6/20)	【到達目標】2点 小物の使い方を理解し巻き方が出来る (ネクタイ、ストール、スカーフ持っているものを持参)
② (4/25)	【到達目標】3点 年代別ファッションを理解することができる [1950年～]	⑩ (6/27)	【到達目標】3点 ストール、スカーフを取り入れたスタイリングが出来る (ストール、スカーフに合わせる衣装)
③ (5/9)	【到達目標】3点 年代別ファッションを理解することができる [～現在]	⑪ (7/4)	【到達目標】3点 テーマに沿ったトータルスタイリングが出来るようになる [GP]
④ (5/16)	【到達目標】2点 年代別ファッションを理解することができる (GPで〇〇年代ファッションを取り入れたコーディネート)	⑫ (7/11)	【到達目標】3点 テーマに沿ったトータルスタイリングが出来るようになる [GP] (イメージに合う衣装を持ち寄りスタイリングしヘアメイクも施す)
⑤ (5/23)	【到達目標】4点 年代別ファッションを理解する事が出来る (GPでトータルコーディネートをし発表)	⑬ (7/18)	【到達目標】3点 テーマに沿ったトータルスタイリングが出来るようになる [GP] (イメージに合う衣装を持ち寄りスタイリングしヘアメイクも施す)
⑥ (5/30)	【到達目標】3点 生地の素材と特徴が理解できる (オリジナル素材表の制作)	⑭ (8/22)	【到達目標】2点 定期試験に向けた振り返り
⑦ (6/6)	【到達目標】3点 服のパーツとディテールを理解出来る	⑮ (8/29)	【定期試験】60 筆記テスト テーマに沿ったスタイリングの発表
⑧ (6/13)	【到達目標】4点 シルエットについて理解することができる (ボディラストでシルエット別のコーディネイトを考える)	【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	
【履修に当たっての心構え・留意点】			

講義シラバス

科目名	アシスタントプログラムⅢ	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S	授業 形態	実習	総時間数	30 時間
学科	ヘアメイク科	コース				学年	2年生		
講師名	藤 なつき	講師 プロフィール	札幌ベルエポック専門学校を卒業し、美容、ブライダル会社にてコーディネーターヘアメイクとして勤務。現在、フリーランスのヘアメイク。						

【授業を通じての到達目標】

・就職してからのアシスタントとしての心構えや、実習前の準備ができるようになる。

【学習内容】

・アシスタントとして必要な知識や技術を身につけ、ヘアセットのバリエーションやスピードをあげる。

【使用教科書・教材・参考図書】

ヘアメイク道具一式、筆記用具

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

1、事前準備 2、相モデルに合うヘアメイクを考えてくる 3、ヘアメイク作品の整理

日時	授業計画	日時	授業計画
① (4/18)	【到達目標】 筆記用具、のり、ハサミ、コラーージュに必要な資料 A3の紙に好きなヘアメイク、服など自分の好きなものをコラーージュする(自分を理解する)	⑨ (6/20)	【到達目標】 ウィック、相モデル、ヘアセット一式 ・アイドルチームを意識したヘアセットができるようになる(一束の強化、ツインテール)
② (4/25)	【到達目標】 相モデル、ヘアセット道具 3人1組でアシスタントの動きのトレーニング	⑩ (6/27)	【到達目標】 相モデル、ヘアセット一式(スプレー) ・アイドル、アナウンサーの動かない前髪、後れ毛の固定ができるようになる。
③ (5/9)	【到達目標】 ウィック、ヘアセット道具、対馬先生初回 ～オリエンテーション～ 授業の目的の確認、自己紹介。 一束の強化、リレー	⑪ (7/4)	【到達目標】 ウィック、ヘアセット一式(ドライヤー、ブラシ、ホットカーラー) ・国家試験ウィックを使い、ブロー、短い髪のヘアセットができるようになる。
④ (5/16)	【到達目標】 相モデル、メイク道具 撮影現場別のベースメイクの作り方の違いを理解し使い分けられるようになる	⑫ (7/11)	【到達目標】 ヘアメイク道具、相モデル ・3人1組でヘア・メイク・アシスタントそれぞれの動きができるようになる
⑤ (5/23)	【到達目標】 ヘアセット道具 ブライダルの現場のベースメイク、つやを作れるようになる。	⑬ (7/18)	【到達目標】 メイク道具 ・ラメをメインにしたメイクができるようになる。
⑥ (5/30)	【到達目標】 相モデル、ヘアセット道具、帽子 帽子を使ったヘアアレンジを作れるようになる。	⑭ (8/22)	【到達目標】 相モデル、ヘアセット道具、小物 リボンや紐、チュールなどを使ったヘアアレンジを作れるようになる。
⑦ (6/6)	【到達目標】 ヘア道具、ネイル(ポリッシュ、除光液用意)、相モデル ・3人1組で1人がヘアしている中でアシスタントとしてネイルができるようになる。	⑮ (8/29)	【定期試験】 ・課題に出されたヘアスタイルを完璧に真似して作れるようになる。 (誰が1番似せて作れるか大会開催！)
⑧ (6/13)	【到達目標】 ヘア道具一式、相モデル ・モデルに動き・癖の指示し、施術者はそれに対応しながらヘアセットできるようになる。	【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 ●小テストは①、②は2点、③～⑭は3点配点	
【履修に当たっての心構え・留意点】 * 学校の企画や、イベントにより授業内容変わりますのでしっかりと内容確認してください。			

講義シラバス

科目名	セルフプロデュース I	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S	授業 形態	演習	総時間数	30 時間
学科	ヘアメイク科	コース	ヘアメイク専攻			学年	2年生		
講師名	川崎優香	講師 プロフィール	北海道唯一総合エンターテインメントスクールDevelop代表。現役でモデルとして活動しつつ、ウォーキング講師となり10年目、スクール経営7年。年齢層幅広くウォーキング指導のみならずオーディション対策、撮影指導、ファッションショー構成&企画運営やアドバイスも行っている。過去にはTVやラジオ出演、ミスコン、様々なヘアショー出演経験もあり。ショー企画運営アドバイスも行っている。						

【授業を通じての到達目標】

現場でヘアメイクされる方への気持ちの寄り添い方、立ち振る舞い方を習得。
どんな人になりたいかイメージに向けて自分自身をプロデュース出来るようにする。

【学習内容】

自分自身の見られ方、見せ方を基本的な姿勢や話し方も含めて学ぶ。
実際に現場に必要な動きやサポート力を身に付けましょう。

【使用教科書・教材・参考図書】

ノート、筆記用具、ヘアメイク道具一式

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

日時	授業計画	日時	授業計画
	【到達目標】小テスト2点		【到達目標】小テスト3点
① (4/16)	オリエンテーション、試験の振り返り。 1年間の時間の使い方や目標設定について。	⑨ (6/18)	ゲスト登壇。 マツエクサロン3店舗経営、女性経営者による経営に関して学ぶ。
② (4/23)	【到達目標】小テスト2点 メイク用品について詳しく調べる。 商品について聞かれた際の説明の仕方やコミュニケーションの取り方を学ぶ。	⑩ (6/25)	【到達目標】小テスト3点 前回の授業で学んだことについて感じたことをまとめ発表。
③ (5/7)	【到達目標】小テスト3点 前回の改善点、振り返り。 違う商品について再度研究し商品説明を行う。	⑪ (7/2)	【到達目標】小テスト3点 立ち振る舞い方、相手からの見られ方について学ぶ。
④ (5/14)	【到達目標】小テスト3点 自分は相手にどう見られているか？ 実際にはどう見られたいのか？グループワーク。	⑫ (7/9)	【到達目標】小テスト3点 ファッションショーとはなにか？ 実際に映像でショーを見て感じたことをまとめよう。
⑤ (5/21)	【到達目標】小テスト3点 グループワークを経て、いかに自分自身を良く魅せられるか。 自分でヘアメイクを行う。	⑬ (7/16)	【到達目標】小テスト3点 発表するということを想定してショーの構成についても学び テーマやヘアメイクなどについてグループワーク。
⑥ (5/28)	【到達目標】小テスト3点 前回の改善を学び、実際にイメージに合ったヘアメイクとファッションを統一させて撮影。	⑭ (8/20)	【到達目標】小テスト3点 次回の定期試験での発表に向けて準備。
⑦ (6/4)	【到達目標】小テスト3点 就職後にどうなりたいか？ 自分自身をブランディングしたヘアメイクを行う。	⑮ (8/27)	【定期試験】60点 前期定期試験 グループ毎にショーを発表。
⑧ (6/11)	【到達目標】小テスト3点 独立するメリット、デメリットについて。 実際に経営をするにあたっての心構えについて学ぶ。	【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	

【履修に当たっての心構え・留意点】

意欲的に取り組み、周りとのコミュニケーションをとる。
臨機応変な対応ができるようになり現場で活躍できるようにする。